

# 「日常をアートとしてとらえる」

【対象：3,4,5歳】

“3つの軸”となる取り組みを通し、  
子どもの探究活動が自然に広がっていく。

本園では、子どもが自ら遊び、試し、友達と関わりながら学んでいく環境づくりを大切にしています。園庭の自然や多様な素材、自由に行き来できる**コーナー保育**の中で、子どもたちは興味を手掛かりに、日々の遊びのなかから発見し、試し、対話を重ねています。そうしたプロセスそのものを本園では「**アート**」ととらえ、日常の遊びから探究が広がる活動として本テーマを設定しました。



01

## 探究の出発点

### —コーナー保育—

子どもが興味・関心をもつ遊びを自ら選び、自然物や素材に触れながら試す中で、「こうしたらどうなるだろう」という探究が日常の遊びの中から生まれていきます。

4月～3月：毎日



02

## 視点をひらく機会

### —アート教室—

子どもたちの興味を示したテーマを設定し、一つの作品を作ります。素材との出会いや表現の可能性に触れ、子ども一人ひとりの見方や感じ方を広げる機会としています。

4月～3月：月1回



03

## 環境を使った探究活動

### —特別プログラム—

子どもたちが特に興味を示していた紐などの素材を使いながら、インスタレーション制作を行いました。テーマを決めず自由に空間を描き、ホールいっぱい表現活動を行いました。

1月～2月：展覧会、振り返り

## 先生たちの気づき

コーナー保育の日常の遊びを出発点に活動を広げる中で、子どもたちは日常の遊びの中でも多くの発見や表現を生み出していることが見えてきました。子どもの興味を手がかりに環境を整えることの大切さを実感しました。

感じ、試し、友達と共有する過程

そのものが園における“アート”です。

